

## 沿道に地域結束の花が咲く

6月6日、白河地域4地区で、「沿道緑化フラワーロード事業」の花苗植え付け作業が行われました。作業を行ったのは、昭和町町内会（伊藤満会長）、小田ノ里第一白寿会（小泉鶴之代表）住みよい五箇をつくる会（深谷穂代表）、小丸山寿栄会（佐藤秀夫代表）で、各主要道路の沿道にマリーゴールドなどを植栽しました。

なお、この事業は各地域でも実施しています。



## 市長と一緒に権太倉山の素晴らしさを

5月30日、大信地域を中心とした住民約100人が、鈴木市長と、本市最高峰（976m）の権太倉山（大信隈戸）に登りました。

このイベントは、「権太倉山の素晴らしさを感じてほしい」と地域住民によって企画されたものです。頂上では、磐梯山などの眺望を楽しみ、下山後は、ふるさとの森でバーベキューをするなど、参加者は充実した一日を過ごしました。



## 住友ゴム工業株白河工場の緑地活動が認定

住友ゴム工業株白河工場（双石）での自然環境保護への取り組みが、財都市緑化基金の「生物多様性保全につながる企業のみどり100選」に認定されました。

白河工場従業員の手づくりにより、6年の歳月をかけて「GENKIの森」を整備し、現在では、地域住民に憩いの場所として、さらには環境教育のフィールドとして活用されています。



## 7品目に対して白河ブランド初の認証

5月28日、市役所で、「白河市農産物ブランド認証書交付式」が行われ、ブランド認証産品に選ばれた7品目に対して認証書が交付されました。

鈴木市長は、「全国に白河の食の魅力を発信し、白河市の認知度の向上、イメージアップを共に図っていききたい」とあいさつしました。

とあいさつしました。

認証された産品は、(有)肉の秋元本店の「白河高原清流豚」、(株)大黒屋の「ハッピーアイランドフルーツマトジュレ」、明陽食品工業(有)の「梅ジャム」「ヤーコンジャム」「りんごジャム」、千駒酒造(株)の「特別純米 手造り」「米・芋焼酎 いちぶん」です。これらの産品は、「白河市農産物ブランドマーク」を付けて販売され、首都圏での物産展や商談会に出品するなど、販売活動を展開します。

## 「国勢調査実施本部」を設置

6月1日、市役所内に「国勢調査実施本部」を設置しました。

今年10月1日を調査日として行われる国勢調査の円滑な推進が目的で、本部長の鈴木憲行副市長と副本部長の鈴木進一郎市長公室長が看板を設置しました。

鈴木本部長は、「正確な業務の推進をお願いしたい」と訓示しました。



## 作家・中山義秀の足跡、記念の冊子に！

中山義秀顕彰会（会長・鈴木市長）は、大信地域出身の芥川賞受賞作家・中山義秀の生誕110年を記念した冊子「中山義秀の人と作品ー義秀文学への誘い」を発刊しました。

義秀の生涯や作品などが解説されており、義秀文学の入門書とも言えます。ご希望の方には、実費で頒布していますので、中山義秀記念文学館 ☎463614までお問い合わせください。



▶鈴木本部長（右）と鈴木副本部長



▶小丸山寿栄会の様子

## 中央中に待望のテニスコートが完成

6月4日、明戸地内で、「中央中テニスコート落成式」が行われ、伊藤渉教育長や栗原貴横町町内会長らがテープカットをして、完成を祝いました。男子・女子テニス部長の舟部祐希さん・角田千春さんが「練習をして期待に応えたい」とお礼の言葉を述べました。

面積は1,230㎡で、テニスコート2面が整備されました。

